

令和 2 年

第 6 回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

## 令和2年第6回仙北市議会定例会 市政報告

令和2年第6回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和元年度の一般会計決算についてです。

歳入総額は223億5,530万1千円、歳出総額は218億6,133万1千円、歳入歳出差引額は4億9,397万円の黒字です。翌年度へ繰り越すべき財源総額4,025万5千円を差し引いた実質収支額は、4億5,371万5千円の黒字です。財政状況を示す各指標では、経常収支比率が98.9%で、昨年度との比較で0.6ポイント、経常一般財源比率も98.5%と前年度から1.1ポイント減少しました。公債費比率は6.2%となり0.4ポイント、公債費負担比率は15.2%で1.0ポイント増加しています。なお、健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率は、監査委員の意見を付して本定例会で追加提出しお示しします。

次に、一般会計補正予算（第6号及び第7号）についてです。

第6号補正の補正額は17億1,049万9千円で、補正後の額は264億2,362万7千円です。追加事業はふるさと納税ふるさと便事業費、ふるさと仙北応援基金積立金、仙北市プレミアム宿泊支援事業費及びGIGAスクール構想推進事業費で、早期に事業等を実施するため本日の議決をお願いするものです。

第7号補正の補正額は、2億7,412万円で、補正後の額は266億9,774万7千円です。主な事業は、秋田内陸線感染症拡大防止対策事業費補助金、戸籍事務・マイナンバー制度導入事業費、認可保育園等管理費、保育園児免疫力アップ遊具整備事業費、保育園児免疫力アップ遊具整備事業費補助金、保育所等保健衛生用品整備等補助金、新しい旅のカタチ創造事業費、冬期交通対策費、学校

保健特別対策事業費などです。第2表地方債補正は変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況をご報告します。

## 【総務部】

### ◇特別定額給付金事業について

全国一律に一人10万円を給付する特別定額給付金事業について、仙北市では8月13日をもって受付を終了しました。最終的な給付状況は、対象となった市民25,621人のうち25,610人から申請をいただき、総額25億6,100万円（給付率99.96%）を市民の皆様にお届けすることができました。

### ◇市制15周年記念式典について

仙北市は、平成17年9月20日に2町1村の合併により誕生し、早いもので15周年を迎えます。市制15周年を記念し、9月20日に市政発展にご尽力いただいた方々を対象に表彰式及び記念式典を開催します。議員の皆様にご案内を差し上げています。出席いただきますようお願いいたします。

### ◇就職氷河期世代対象の採用試験について

就職氷河期世代（おおむね35歳～50歳）の採用試験を実施しました。受験申込者は全国各地から112人となり、書類選考による一次試験合格者は21人でした。二次試験の面接は、県内の方は対面式、県外在住者は原則オンライン面接とし、8月22日から23日に行い、辞退者1人を除く20人が面接に臨み、これまでのキャリアや資格の有無、移住希望等を考慮し、10人を最終合格者としました。最終合格者の採用は11月1日を予定しています。

### ◇新角館庁舎建設工事の進捗について

現在、内部仕上げ工事や外構工事といった工事最終段階の工程を

行っています。8月31日現在の進捗率は86%で、10月30日の竣工に向け遅れなく進捗しています。なお、竣工後には11月から12月上旬まで備品等の搬入、12月19日、20日に引越し作業を実施し、12月21日の開庁を予定しています。

公用車車庫棟建設工事、地中熱利用設備工事、第1・第2駐車場外構工事も予定どおり進捗しています。

#### ◇大塚製薬株式会社との包括協定の締結について

8月31日、仙北市と大塚製薬株式会社との連携と協力に関する包括協定を締結しました。この協定締結により、SDGsの取組み達成をはじめとした、大塚製薬株式会社を持つ知見やノウハウを活かし、市民の健康づくりやスポーツ振興等に連携して取組むとともに、災害発生時の支援等、包括的な事項について、地域の活性化や市民サービスの向上に取り組めます。

#### ◇オリパラ基本方針推進調査に係る取組について

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部で公募していた「オリパラ基本方針推進調査（パラリンピックを受け入れるホストタウンの拡充等）」へ応募し採択となりました。

事業内容は、角館高校と大曲支援学校せんぼく校の生徒たちの協働によるユニバーサルデザインのまちづくりに資する短編映像制作や、障がい者や高齢者にとって不便な場所や危険箇所を洗い出して効果的に伝達するポスター制作などです。大会を契機とした交流や本事業での取り組みを通して、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

#### ◇市税等の収納率について

7月末現在の市税等の滞納繰越分収納率は、前年同月比で普通税が3.1ポイント増加の10.6%、国民健康保険税が3.5ポイント増加の15.3%、後期高齢者医療保険料が18.5ポイント

増加の30.8%です。

また、現年度課税分は、前年同月比で普通税が0.3ポイント減少の55.5%、国民健康保険税が0.3ポイント減少の19.5%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が3.4ポイント減少の20.3%となっていて、引き続き収納率の向上に全力で取り組みます。

#### ◇梅雨前線に伴う大雨対応について

7月28日未明、土砂災害警戒情報が発令された対応で同日午前2時30分に災害連絡室を立ち上げ警戒にあたりました。一部地域では、山腹からの増水により地元消防団による土嚢積みが行われたほか、西長野地区の国道で改修中の歩道が崩れ、一時片側交互通行となりました。また、角館町下延、白岩地内での大豆・ネギ等作物の一部冠水被害のほか、農業用施設では、西木町西明寺、角館町八割地内で水路や頭首工に被害を受けました。

また、8月8日から9日にかけて大雨が予想されたため、8日午後8時に災害連絡室を立ち上げ警戒にあたりました。9日未明から局所的な大雨が断続的に降り続き、一部地域では消防及び地元消防団が駆け付け土嚢積みを行いました。昼近くに桧木内川の河川公園の一部が浸水しましたが、水の引きも早く大きな被害に繋がらなかったことに安堵しています。

#### ◇桧木内地区避難所開設訓練について

8月4日、桧木内小学校体育館を会場に、豪雨による土砂災害を想定した避難所開設訓練を実施しました。桧木内小・中学生、地区住民およそ100人が参加したほか、警察、消防からも協力をいただきました。また、6月に策定した「新型コロナウイルス感染症対策としての災害時避難所運営マニュアル」を基に、3密に配慮した避難ブース設置の検証も行いました。今後も避難所開設時のブースの配置や必要な装備品についても検討していきます。

## ◇テレドームの導入について

荒天時など防災無線が聞きにくいといった現状を改善するため、防災無線と同じ内容を電話でお知らせするサービス「テレドーム」を導入し、8月6日から運用を開始しました。これからも防災情報など各種情報の迅速な発信を行い、また、市民自らも積極的に情報を取得していただけるよう啓発に努めます。

## ◇災害協定の締結について

ヤフー株式会社及び株式会社伊藤園と災害協定を締結しました。

7月15日に締結したヤフー株式会社との協定は、災害時、インターネットのヤフー株式会社のサイトで仙北市の避難所などの防災情報を周知していただける内容で、市民や観光客などにも幅広く情報伝達できることになりました。8月20日に締結した株式会社伊藤園との協定は、災害における停電時に田沢湖庁舎に設置している自動販売機から無償で飲料水を避難者などに提供いただけるなどの内容です。

## 【市民福祉部】

### ◇角館地区保育園等の在り方検討委員会について

角館地区の市立保育園等4園について、今後の方向性を結論付けるための検討委員会を設置し、6月23日、第1回検討委員会を開催しました。また、8月6日には第2回検討委員会を開催し、令和4年度に法人移行を予定する角館こども園と、間もなく築40年を迎える白岩小百合保育園、角館西保育園、中川保育園の将来的な在り方について、それぞれ意見交換を行いました。同委員会は今後2回程度の開催を予定しています。引き続き協議を重ねて、年内には提言書として方針を取りまとめる日程です。

## 【観光商工部】

### ◇仙北市プレミアム宿泊支援事業及び教育旅行の農泊推進地域元気

## づくり事業等について

7月4日より開始した県民向け施策「仙北市プレミアム宿泊支援事業」が好評です。今定例会で追加予算をお願いしています。また、「仙北市物産オンライン販売促進事業」で、8月1日から（一社）田沢湖・角館観光協会のオンラインショップ「田沢湖・角館商店」がリニューアルオープンし、土産物・伝統的工芸品など、市内25社から125商品をオンライン販売し、実績も上がっています。

「教育旅行の農泊推進地域元気づくり事業」では、受託者の（一社）仙北市農山村体験推進協議会が、7月28日から30日までの間、秋田県内の小中学校208校を訪問し、仙北市への誘客活動を実施しました。また、県内特別支援学校16校、宮城県内小中学校584校、岩手県内小中学校461校に資料送付を行いました。

## ◇入り込み客数等について

令和2年4月から6月の3ヶ月の入り込み客数は230,488人で、昨年同時期の2,537,941人に比べ9.1%となりました。また、同時期の宿泊者数は合計19,347人で、昨年の140,895人と比べ対前年比14%です。依然として厳しい状況が続いています。しかし、国・県・市・観光協会等の対策もあり、8月27日までの暫定値では、7月の入込客数は、163,835人（対前年比59.33%）、宿泊客数は22,437人（対前年比49.85%）と、県内往来で回復を感じています。

## ◇秋田駒ヶ岳でのクマ事故等について

7月13日午前9時25分頃、秋田駒ヶ岳8合目付近の登山道で、男性2人がクマに襲われる事故がありました。命に別状はありませんでした。一時は入山規制・上り線のバス運行中止などの対応を取りましたが、その後、国・県・関係機関との打合せの結果、同日午後5時30分で規制を解除しています。

また、7月16日には、環境省十和田八幡平国立公園岩手地区パ

ークボランティア所属の男性1人が、阿弥陀池付近でパークボランティア活動中に体調を崩し亡くなりました。ご冥福をお祈りします。

### ◇地域おこし協力隊の着任について

8月1日から台湾出身の鐘偉倫（しょう いりん）さんが、9月1日からは埼玉県出身の中山里沙（なかやま りさ）さんが、新たな地域おこし協力隊として着任しました。

鐘さんは、多言語でアクティビティガイドをしながら、定期的な情報発信と次世代のガイド育成を図ること、中山さんは、観光地域づくり候補法人（候補DMO）（一社）田沢湖・角館観光協会で、登録DMOへの昇格を目指すための各種取組、また、登録DMOとなった後には、本市の観光地域づくりを進めるDMO運営をサポートする一員として、各種の取組みにあたります。

### ◇祭り・イベント等の中止について

6月17日に開かれた第2回「角館祭りのやま行事実行委員会」で、「角館祭りのやま行事」（9月7～9日）の曳山運行、置山設置や舞台などは中止が決まりました。角館総鎮守神明社の神事、勝楽山成就院薬師堂の法楽については行う予定と伺っています。

また、抱返り紅葉祭は7月21日の実行委員会で中止が決まり、飲食や舞台などの観光イベントは行わないことになりましたが、遊歩道の散策自体は今のところ可能としています。なお、回顧の滝から飯村少年殉難の地までの県発注の遊歩道改修工事は、10月中の完成を予定しているとの報告を受けています。

### ◇融資支援対策について

新型コロナウイルス感染症の拡大で、資金繰りに支障をきたしている事業者を支援する融資制度申請については、8月31日時点で認定件数266件、申請予定額39億7,900万円です。内訳は、セーフティネット認定件数86件、申請予定額10億3,721万



円、危機関連認定件数180件、申請予定額29億4,179万円となっています。

#### ◇事業継続支援金について

新型コロナウイルス感染症の対応で、事業継続を支援する事業継続支援金の申請については、6月30日で受付を終了し、申請件数は434件、うち承認件数426件です。内訳は、宿泊・飲食業が64件、承認額1,920万円、宿泊・飲食業以外が362件、承認額7,240万円、合計承認額9,160万円でした。

#### ◇プレミアム商品券について

新型コロナウイルス感染症の経済対策で実施中の仙北市民プレミアム商品券は、8月31日現在で21,890セット、2億1,890万円の販売状況となっています。

### 【農林部】

#### ◇農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の選考について

令和2年12月19日で任期満了の農業委員会委員、及び農地利用最適化推進委員について、6月18日から7月17日まで各委員の募集を実施したところ、農業委員は定員17人に対して17人の応募があり、農地利用最適化推進委員は定員20人に対して推薦1人、応募が21人、合計22人の届け出がありました。

このうち農業委員については、7月28日に選考委員会を開催し、応募者17人を候補者として決定しました。本定例会に人事案件として提案しています。ご審議をよろしくお願いします。

なお、農地利用最適化推進委員については、8月7日、農業委員会会長を委員長とする評価委員会を開催し、22人の推薦及び応募者のうち20人を候補者として決定し、9月4日開催の農業委員会総会で決定すると伺っています。

## ◇本年産米の作況について

東北農政局が発表した8月15日現在の水稻作柄概況は、青森、秋田、岩手、山形は「やや良」、宮城、福島は「平年並み」の見込みとなりました。7月の低温・大雨・日照不足等で、一部に影響があったものの、梅雨明け以降天候が回復したことで生育はおおむね順調に推移しています。今後は、台風など気象情報に注意するとともに、病虫害防除の徹底に努め、良質米生産が図れるよう期待しています。

## 【医療局】

### ◇新型コロナウイルス感染症対策について

両病院では、院内感染防止対策として来院者の検温や面会制限等を継続して実施しています。

さらに角館総合病院では、LAMP法による病院独自の検査体制を導入し、新型コロナウイルス感染症が疑われる入院患者や手術患者の検査を実施しています。

また、メンタルヘルス病棟へ入院患者を受入れるための改修を終え、クラスターの発生等、今後の感染拡大に備え、医療スタッフのトレーニングを重ねて受入れ体制を整えています。これに伴い、両病院の感染防止対策をはじめとする関連経費は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用することとし、医療従事者等に対する慰労金と併せ本定例会に補正予算を提案しています。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は報告関係1件、条例関係2件、予算関係7件、人事関係20件、決算認定関係14件、その他1件の計45件です。

慎重審議の上、全議案についてご可決を賜りますようお願い申し上げます。市政報告とします。